

# 慶應義塾のこの1年

塾員の皆さまにもお送りしている「社中特別号」にあたり、この1年間にあった主な義塾のニュースをまとめました。各ニュースの詳細やその他の最新のニュースは、義塾Webサイト (<http://www.keio.ac.jp/>) で確認できますので、参照ください。

## リオデジャネイロ オリンピック・パラリンピックで 塾生・塾員が活躍

夏に開催されたリオデジャネイロオリンピックおよびパラリンピックには、塾生2名、塾員2名が出場し、塾員の山縣亮太君が陸上男子400mリレーで銀メダルを獲得するなど、大活躍を見せました。また、男子団体で金メダルを獲得した体操競技では、水鳥寿思

総合政策学部専任講師が監督を務めました。

9月29日には、各選手・監督の健闘をたたえるために、三田キャンパス南校舎ホールにて「リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック出場選手塾長招待会」が開催され、多くの塾生・塾員が参加しました。

### 出場選手・結果

	競技	氏名	学部	出場種目・結果
塾生	セーリング	どい まなみ 土居 愛実 君	環境情報学部4年	女子レーザーラジアル級 20位
	体操(トランポリン)	むねとも ぎん が 棟朝 銀河 君	環境情報学部3年	男子個人 4位入賞
塾員	陸上競技	やまがた りょう た 山縣 亮太 君	総合政策学部卒業	男子100m準決勝 11位 男子400mリレー 銀メダル
	パラリンピック陸上競技	たかくわ さき 高桑 早生 君	総合政策学部卒業	女子走り幅跳び(T44) 5位入賞 女子200m(T44) 7位入賞 女子100m(T44) 8位入賞



左より、棟朝君、高桑君、山縣君、土居君、水鳥専任講師



招待会前の、清家塾長・渡部常任理事との懇談の様子



## 殿町タウンキャンパス開設

義塾は4月1日、新川崎、鶴岡に続く3つ目のタウンキャンパスとして、川崎市殿町地区のキングスカイフロントに「慶應義塾大学殿町タウンキャンパス（以下、殿町）」を開設しました。殿町において研究・教育活動を展開し、産官学連携を進め、イノベーションの創出及び新産業創造を推進することにより、地域社会、研究、教育、産業の振興に貢献することを目指しています。



9月29日には、殿町を含むキングスカイフロント（川崎殿町地区）周辺エリアが、東日本エリアでは唯一、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「世界に誇る地域発研究開発・実証拠点（リサーチコンプレックス）推進プログラム」の拠点として本採択されました。中核機関となる義塾は、川崎市や神奈川県等の自治体、同エリアに集積する多様な大学・研究機関・企業と協働し、「再生細胞

医療・実験動物」、「AIと連携するヘルスケア・オペレーションシステム」、「ロボティクス・医療機器」、「分子設計・ナノファブ리케이션」の4分野を中心に、ライフサイエンス・情報・ものづくりを融合した技術革新と新分野や新産業の創出に取り組んでいきます。

## 先端生命科学研究所 15周年記念シンポジウム開催

9月17日、先端生命科学研究所（以下、先端研）の15周年記念シンポジウム「YAMAGATA、TSURUOKAから世界を変える」が開催されました。先端研は、2001年4月に山形県鶴岡市に鶴岡タウンキャンパス（TTCK）と同時に開設された、「統合システムバイオロジー」という最先端の生命科学研究所です。当日は350名を超える来場者があり、山形・鶴岡に根ざして世界的なバイオ研究拠点へと発展を続ける先端研への熱い期待がうかがえるシンポジウムとなりました。



## プロ野球ドラフト会議にて、 加藤拓也君が1位指名を受ける

10月20日、プロ野球ドラフト会議が行われ、体育会野球部の加藤拓也君（法学部4年・投手）が広島東洋カープより1位指名を受けました。指名後に記者会見に臨み、「嬉しいの一言。プロに入るにあたっては、上を目指さないといけない。（現役引退を表明した黒田博樹投手は）トップクラスの選手。目指すべきところではある」と抱負を語りました。会見後



には、広島カープの緒方監督がドラフト会議会場からかけつけ、固い握手を交わしました。

## 三田キャンパス正門別館(仮称) 新築工事地鎮祭

三田キャンパスの正門西側(ガソリンスタンド跡地)に「正門別館(仮称)」が建設されることとなり、その地鎮祭が8月29日に建築予定地にて行われました。建築予定の建物は鉄骨造2階建て、完成は2017年4月下旬を予定しています。1階は公式グッズ販売、パンフレット配布などを行うインフォメーションスペースとして利用し、2階には社会・地域連携室の事務室などを設置する予定です。



## 湘南藤沢キャンパス(SFC) 「未来創造塾」最初の滞在棟他が完成

SFCでは、学生や世界からの留学生・研究者が滞りながら教育研究を進めるための滞在型教育研究施設「未来創造塾」の建設が5年計画で進められており、その最初の施設となる「滞在棟1」と、ものづくりのスペースである「DFF-W(Digital Fabrication Factory - Wood)」が3月に完成しました。計画、建設作業には、SBC(Student Build Campus)プロジェクトとして塾生や塾員が教職員とともに加わりました。「滞在棟1」は夏に行われた未来構想キャンプ【滞在型】でも使用されました。



## 義塾の熊本地震への対応

大きな被害を受けた熊本地震にあたり、義塾および慶應連合三田会は、義塾社中として一致協力して被災者の方々への最大限の支援を行うため、「熊本地震義援金」を4月19日から5月31日まで募りました。その結果、1,400万円を超える義援金が寄せられ、日本赤十字社に寄付しました。また慶應義塾大学病院は災害派遣医療チーム(DMAT)を被災地へ派遣し、4月19日から2日間の医療活動を実施しました。



## JSR・慶應義塾大学医学化学 イノベーションセンター新築工事

義塾はJSR株式会社と、産・学・医療の連携拠点と位置付ける共同研究棟「JSR・慶應義塾大学医学化学イノベーションセンター」の設立・共同運営に合意し、6月1日に地鎮祭が信濃町キャンパスの建設予定地にて執り行われました。センターは2017年8月竣工予定で、医学部および病院の研究者とJSRの化学素材研究者が連携し、健康長寿社会を支える新たな診断・治療技術や医療支援技術の確立と



普及につながる研究・事業創造を行います。



## 慶應義塾Webサイトを 全面リニューアル

6月13日、義塾の公式Webサイトを日本語版・英語版とも同時にリニューアルしました。デザインを刷新し、多数の動画や画像を効果的に配置。また、スマートフォンやタブレット等のマルチデバイスに対応するレスポンシブデザインを採用しました。また、新たなコンテンツとして、義塾の今を紹介する特集記事「Keio Times」や、塾生・教職員が義塾の魅力語るコーナー「Across Keio」などを設けました。



## トムソン・ロイター社の「アジアで最も革新的な大学ランキング」で10位に入る

トムソン・ロイター社が「アジアの最も革新的な大学ランキング」(Reuters Top 75: Asia's Most Innovative Universities)を発表し、義塾が10位に入りました。このランキングは世界的な情報サービス企業のトムソン・ロイターが、保有する学術論文や特許情報をもとに、大学の所有する特許および学術論文の引用情報などから、科学の進歩、新技術の発明、およびグローバル経済の推進への貢献を独自に算出したものです。義塾は日本の私立大学として唯一上位10校に入り、革新的な研究を行っている大学として世界で高く評価されていることが示されました。

## 平成28年司法試験にて義塾法科大学院が合格者数1位になる

9月6日に平成28年の司法試験の合格者が法務省から発表され、義塾大学院法務研究科(法科大学院)出身者の最終合格者数が155名(昨年158名)、また、最終合格率(合格者/受験者)が44.3%(昨年45.5%)となり、法科大学院等別最終合格者数が第1位、合格率は第4位(私立大学では第1位)となりました。

法科大学院では、グローバルなフィールドで活躍できる法曹およびグローバル企業・国際機関のリーガルスタッフを養成するために来年度から新たにグローバル法務専攻を設ける(「萬來舎」記事参照)など、「国際性、学際性、先端性」という3つの理念のもとに、21世紀の法化社会に求められる幅広い人材の育成を目指しています。

## 経済学部主催 黒田東彦日本銀行総裁講演会を開催

6月20日、三田キャンパス南校舎ホールにおいて、黒田東彦<sup>はるひこ</sup>日本銀行総裁が「デフレからの脱却に向けて：理論と実践」というタイトルで講演を行いました。会場には経済学部・経済学研究科を中心に多くの塾生・教職員が来場し、遠隔会場も用意されました。塾生からは経済に関する専門的な質問が複数寄せられ、黒田総裁との質疑応答が報道にも取り

上げられるなど、注目を集める講演となりました。

